



近畿支部会報

2023年10月 支部長

智積院の観月会に行きました。唐門を過ぎると正面にだんごとススキが飾ってありました。昔は、お月見はススキだけでなく他の秋の七草も飾っていたそうです。“秋の七草”は、「オミナエシ・ススキ・キキョウ・ナデシコ・フジバカマ・クズ・ハギ」の7つで、それぞれの頭文字をつないでオ・ス・キ・ナ・フ・ク・ハ（お好きな服は？）と、覚えます。秋の七草は、万葉集8巻にある、山上憶良（やまのうえのおくら）が詠んだ和歌2首がもとになっています。



「秋の野に 咲きたる花を 指折^{おとび}り かき数^{かず}ふれば 七種^{ななくさ}の花」

「萩^{あぎ}の花 尾花^{おぼな} 葛花^{くずばな} なでしこの花 女郎花^{おみなえし} また藤袴^{ふじばかま} 朝貌^{あさがお}の花」

当日は雲のない夜空できれいな満月を見て楽しみました。

今回の会報は、次の内容でお届けします。

| | | |
|------------------------|-------|----------|
| 1. 例会報告 Online～沖縄と結んで～ | | |
| 例会報告 | | 京都市 H.T |
| 参加者の感想 | | 参加者 |
| 2. トラベラー受け入れ報告 | | |
| ベルギーからのトラベラー | | 久御山町 A.K |
| 元気な仲良し親子 | | 京都市 H.T |
| 再びピサンカ作りに挑戦 | | 京都市 H.T |
| 3. イベント参加報告 | | |
| アフリカ音楽と接して | | 久御山町 A.K |
| 4. お知らせとお願い | | 支部長 |

1.例会報告 Online～沖縄と結んで～

例会報告

京都市 H.T

参加者（17名）

沖縄2名 近畿支部9名 関東支部4名 東海北陸支部1名 会員外1名

9月21日は国連の定めた国際平和デーです。それにちなんで、9月9日（土）午前10時から沖縄とサーバス近畿支部等を結んで、Online 例会を行いました。沖縄からは支部会員 W.A さんの娘さんの S.T さんとお友達の K.Y さんが参加して下さいました。S.T さんは平和や命を大切にしようという想いを歌うことで伝える活動を、K.Y さんはブログやラジオ番組を持ち、沖縄在住の外国の人たちと交流を深める活動をそれぞれ続けていられます。7月には2人とも日中友好使節団のメンバーとして交流を深めるために中国へ行って来られました。



先ず始めに S.T さんが本土にいた時と住んで肌で体験することの違い（最初に経験した台風では本土とは比べ物にならない強さでどうしようかと慌てふためいている中、近所の人は三線（さんしん）を奏でて台風が過ぎるのを待っていた等）に始まり、中国での音楽交流は多くがキャンセルになったけれども、実施できた物については、実施した中国の人も反スパイ法で逮捕されるかもしれないというリスクがある中でのものだったと言われて、改めて日中関係はどちらも様々な規制を緩めないために、厳しい状況が続いていることを実感したとお話下さいました。最近はおスプレーが飛ぶのが多くなり、得体の知れない不安を感じるとのこと。最後に、元々独立国家であった琉球が歴史の中で日本になったり戦後は切り離されたり、本土復帰して50年が過ぎた今、軍事配備が急速に進む中で「沖縄が日本である意義は一体何なのだろう」とつくづく考えてしまうとおっしゃっていました。

K.Y さんは膨大な資料のパワーポイントを作って下さり、詳しく話して下さいました。沖縄で S.T さんと同じ大学で音楽を学ばれて、その後、タイのチェンマイ大学で非常勤講師をされ、東アジアという規模で音楽や講話を通じて平和活動を継続され、常識では考えられないくらいとても精力的にブログ、新聞、放送などのマスメディア等も駆使して活動されておりました。そして、沖縄に帰られてからは東アジア共同体研究所 琉球・沖縄センターの事務局長をされ、沖縄を平和のハブにしたいと活動されています。又、1948年（昭和23）8月6日、伊江島で死者107名、負傷者70人という沖縄の米軍関係では戦後最大となる伊江島の米軍 LC 爆発事件についても話して下さい、私たちが知らない沖縄の状況を教えてくださいました。

その後、会員から質問や意見等が出されましたが、それは会員からの感想に書かれていますので、そちらをご覧ください。

沖縄との Online 例会（2023年9月9日）参加者の感想

感想を寄せて下さった参加者（敬称略）14名

沖縄1名 近畿支部8名 関東支部4名 東海北陸支部1名

~~~~~  
おはようございます。昨日はお世話になり有難うございました。時間があっという間で予定時間を過ぎてしまい、申し訳ありませんでした。

どの土地にも大戦の爪痕や2次被害に苦しむ方は多くいらっしゃると思います。ただ、昨日どなたか

も仰られたように、琉球王国が日本になってから、ここは【捨て石】のような扱いだと感じます。それは日本政府からのみならず、世界的に見ても様々な利権、覇権の面から非常に都合の良い場所に位置しているからでしょう。考えれば考えるほど途方にくれてしまいますが、昨日ご参加の皆さまが関心をお持ち下さり、お耳を傾けて下さいました事、改めて感謝申し上げます。

K.Y.からも、「発信する大切な機会を頂きまして有難うございました」と言付かりました。

明るく楽しい話題で沖縄をお話出来るようになりたいものです。

またお会い出来ます事を楽しみに致しております。

本当に有難うございました。

S.T

参加者の皆さんの自己紹介から始まって、S.Tさんの沖縄での生活で驚いたことと、滋賀県での生活以上に沖縄の生活が長く過ごした話をしてくださいました。音楽を通じて平和交流と、お友達のK.Yさんの影響を受けての活動の様子を詳しく聞きました。他の国の人々と民間レベルで仲良くしようというのは、聞いていても難しく感じました。ここ1~2年は深夜昼間を通してオスプレイが飛んでいるのを見ることが気になると話されていました。

K.Yさんは、自分が活動されている東アジア共同体研究所 琉球・沖縄センターのお話を中心にしてくださいました。私もYouTubeチャンネルで伊江島での米軍LCT爆発事件を見ました。

9月13日京都新聞の凡語には、ボランティア団体の代表で40年以上前から遺骨収集を続けている具志堅隆松さんの話が出ていました。辺野古の米軍新基地建設の埋め立てに県南部の土砂が使われる可能性が高くなっている。遺骨を土砂ごと基地の土台にすることになるのではないかと。国のためにと戦いに倒れた人たちを粗末にする政府を信用していいのだろうか。沖縄戦では京都府の2544人、滋賀県の1691人もなくなっている。遠い沖縄の問題と済ませてはならないと書いてありました。

沖縄での情報が本土では取り上げられることが少ないと感じました。自分から知ろうとする姿勢が大切だと思いました。

A.K&T

沖縄の方のご協力で国連平和の日にふさわしい例会が出来て、とても良かったです。又、他支部からのご参加下さり嬉しいでした。

S.Tさんのお話では「沖縄は本土に復帰しても本土と全く違う状況が続いていて、沖縄の本土復帰とは何なのか」と言われたことが一番心に引っかかっています。今はオスプレイが頻繁に飛び交うと言われたとおり、沖縄は台湾有事等が起これば最前線に立たされて戦争に巻き込まれる可能性が大です。米軍基地はそのままにしての本土復帰、沖縄には日本の米軍基地の70%が在り、沖縄の状態は何時までも変わらないというより、日本政府の大軍拡政策により益々困難な状況になっています。そのような日本政府の政策は許せないし、私たちは政府のそのような政策を許さない活動をしなければと思います。

K.Yさんはその精力的な活動に只々脱帽です。沖縄の米軍関係では戦後最大となる伊江島米軍弾薬輸送船爆発事故の事も教えてくださってありがとうございました。

H.T

先日は知らないことを知ることができた貴重なお話をありがとうございました。用事があり途中参加、途中退席となり申し訳なかったのですが、それでも沖縄戦の悲惨さや今も活動されている様子が学べました。知ることから始まるということ、本当にそうだと思います。子どもたちが修学旅行で行った伊江

島の歴史を知り、だから修学旅行先になったのだと感じました。貴重なお話をありがとうございました。

N.N&M

~~~~~

オンラインミーティングに参加させてもらいましてありがとうございます。

日本人がベトナム戦争のニュースを茶の間でのテレビで見ている時代に僕はボーイング社で次期早期警戒機のお話を聞いていました。この航空機を制作している建屋に見学を申し込んでも容易にはOKが出ませんでした。

東アジアは今日のように緊張していませんでしたが、その頃からソ連、中国、北朝鮮の軍用機の詳細情報を米軍基地を中心に集めるようになってきました。これは次の戦争が起こることを前提に準備しているのです。アメリカは沖縄、日本本土、台湾を失うとグアム、ハワイまで後退しなくてはならない為に体制の違う国がアメリカ本土に近寄って来るのを恐れているのです。日米安保条約は日本を守るということですが、これはアメリカの国際戦略の一つです。

どのようにすれば今日の緊張を緩和出来るのかは僕にはわかりません。

軍人は戦争に勝つことしか頭にありません。草の根平和運動の限界を強く感じます。

中国大陸の友人も台湾の友人も戦争は望んでいません、でも緊張は高まっているのを感じます。中国人の友人は漢方薬の原料を仕入れに北朝鮮に入っています。彼女が日本へ今年に来る予定です、北の庶民の生活状態などを聞いて見たいです。中国本土での反体制派の友だちの事も心配です。公安警察に目をつけられて行方不明になった友人もいます。中国社会はお互いを監視し、密告する社会に、戦前の日本ようになってきていると聞きました。

M.T

~~~~~

今回沖縄在住のS.Tさん、K.Yさんの貴重なお話を伺い、日々何となく過している私にとっては平和を考える良い機会でした。

沖縄住民だからこそオスプレイの深夜の騒音に不安を感じたり、遺骨収集などに戦争を身近に感じていられからこそ深い思いがあると感じました。

戦争を知らない人達が当たり前の平和が当たり前でない現実が身近にあるから行動を起こされたことを尊敬します。

私の都合により最後まで聞くことが出来ず残念でした。

平和という言葉簡単に口に出来ない自分があるのも現実ですが、世界共通の音楽で活動を続けられるおふたりに少しでも近づけるよう頑張りたいと思います。

W.H

~~~~~

今回、那覇と京都を ZOOM で繋いでの会は、現地の声を直接聞くことができた上、遠隔地の会員さん達の参加を得られたことが、わずかながらも久しぶりの顔合わせとなって嬉しいことでした。

今回のテーマとは少しずれますが、前回 PFAS の問題を DVD と資料によって学ばせて頂きました。あの時点では本州のマスコミではまだ発表されていませんでした。間もなく朝日新聞でトップニュースとして取り上げられ、TV でも時折この問題が報道されるようになりました。とりわけ気を付けて見ますが、この問題が早くに沖縄で起きていたことを報道する内容には現在のところ出会っていません。また更にその前、ユネスコ世界自然遺産に登録された「やんばるの森」の中に銃弾などの危険な物が放置され「やんばるの森」を訪れる人々に危険が及ぶ心配のあることなど、これほどの問題が沖縄で起き

でも本州のマスコミは取り上げてこないという事実があります。「やんばるの森」の件では本州の大手4紙に掲載があるかどうか滋賀県立図書館で調べてほしいと娘から依頼されました。私の見た限りありませんでした。

滋賀県民から沖縄県民になった娘はこの違いに驚いています。復帰50年の年ですが、ドルが円になったこと、車が左側通行になったこと程度にしか感じられていません。

本州の各県との格差が大きいです。太平洋戦争でのあの悲惨な経験、本州の私は沖縄の人々に申し訳ない、顔向けできない気持ちがあります。それでも沖縄の人々は旅人である私たちに対して極めて親切なのです。タクシーに乗った時「観光ですか？お参りですか？」と尋ねられ、「ひめゆりへお参りです」と答えますと、ご自身の戦後の体験を語られました。

K.Yさんが伊江島の新事実を調査、日本のガンジーと言われた阿波根昌鴻さんの非暴力の抵抗運動に心を揺すられた昔を思いました。命どう宝の家を漸く訪ねたのは氏の没後でした。これから氏の無念が少しずつ明らかにされていくことになります。

W.A

この度は関東支部のT.Sさんからのお誘いでミーティングに参加いたしました。日頃は平和を実現するキリスト者ネットにつながる日本友和会の会員として活動しています。

毎月第1月曜日は 防衛省まで 辺野古基地反対の行動

毎月第4月曜日18:00は 沖縄の方々と連動して、首相官邸前でゴスペルを歌う会

戦争に反対の宗教者ネット（日本妙法山のお坊さんとキリスト者）で、議員会館で院内集会と議員会館前で集会 渋谷ハチ公前で集会

それ以外に総がかりの活動の集会。これらすべてに参加はいたしません、沖縄の情報を頂いています。

いままで サーバスの方々にお知らせしていませんでしたけれども、今後は必要な情報は分かち合いたいと強く思いました。

I.Y

昨日は沖縄在住のお二方の貴重なお話を聞きとても感じ入りました。江戸時代より沖縄の人々には大変な重荷を背負わせてしまい、これからもさらなる苦難を強いて、本当に申し訳なく思います。私の住む大和市も近くに米軍の飛行場があり、日夜騒音に悩まされています。関西にいた時には想像もできませんでした。沖縄の方たちの不安はいかばかりかと思えます。政府のしようとしていることに、これからはもっと積極的に違を唱えていかななくてはと痛切に感じました。この度は良い機会を与えていただき本当に有難う御座います。

K.M

今日のzoom meeting は私にとっても有意義だったと思います。重いテーマで、身近な（サーバス会員から）人からお聞きする事は今まで滅多になかったのも、またお若い方の意見をこんなに近くで聞くという機会も無い私ですが、もっと私も真剣に考えなければいけないと思いました。S.Tさんは活動されている様子を生き生きとお話になり、伝わってくるものがあり、また、K.Yさんのスライドを使って懇切丁寧に説明されたのにも感動を覚えました。すぐにお返事ができるだけの情報を持ち併せていない私ですので、沖縄の問題をここで書くことは控えさせていただきますが、今後マスコミなどの報道を聞く時に、今日の事を留意して注意深く考えていきたいと思えます。私はサーバス会員でよかったですし、これからも学ばせていただきます。

T.S

沖繩に関する私の知見は、これまでに仕事で2回、家族旅行で1回の訪問。沖繩ロードムービーと銘打った映画「カラカラ」を観て、その中で沖繩に長寿者が多い理由として、柔軟な関節の維持と社会参加、例えば芭蕉布の織り手と解説され腑に落ちました。それ以前から、私のカラオケ愛楽曲の一つが「芭蕉布」だったことに、何がしかのご縁を感じた次第です。

S.Tさんは沖繩県立芸術大学のご出身とのことで、私が2014年に愛知県陶磁美術館で嘱託員の頃、当時学芸課長だった森達也さんが翌年沖繩県立芸術大学教授に就任されたのを思い出してホームページで調べたら、今も教授をされていました。これもご縁です。

今回のミーティング参加は、最近読んだ、ロバート・ピロット著「毒の水」に触発されてのことです。沖繩が水の恐怖に一番近いかなと思っていましたが、「報道以来水道水を飲まずに、水は購入している」とのS.Tさんの発言で納得しました。地形的な台風銀座はさておき、「基地問題、やりたい放題の米軍、追従のみの日本政府」と八方塞がり状態の中で、K.Yさんの活動には脱帽です。

今回のミーティング参加は、「自分にできることは何か」をこれから探していくきっかけになりました。ありがとうございました。

M.A

2. トラベラー受け入れ報告

ベルギーからのトラベラー

久御山町 A.K

BrさんとMaさんは、お友達夫婦と一緒に日本を旅行されていました。メールには、SERVAS 近畿支部の人と交流したいし、防空頭巾について何か知っていることはありませんかと書かれていました。現在は防災頭巾と言うそうですが、以前、関東地方に転居した知り合いの子が学校からの持ち物に書かれていたのを思い出しました。



9月8日は、W.Hさんが待ち合わせをして二人のスーツケースを京都駅から我が家に運んでくださいました。その日のディナーは、W.Hさんの近くのレストランで楽しく過ごして、我が家に来られました。間違っ一つ手前のバス停で降りてしまい、ダイハツ販売店に明かりがついていたので、我が家までの道を尋ねたそうです。親切にも若者3人が一緒に探して送って来てくれました。本当にありがたかったです。お土産にベルギーワッフルを持ってきてくれたのですが、日本にも売っていて驚いていました。

9日は、午前中宇治散策に出かけました。午後はお友達と待ち合わせして、嵯峨嵐山でサイクリングツアーを3時間したそうで、お尻が痛いと言って帰ってきました。

10日は、お友達と奈良公園散策を計画していました。私達も参加して、一緒にJR奈良から猿沢の池に行く途中にある中谷堂で出来立ての草餅を買っていました。草餅はとても気に入って帰りも買っていました。その時、偶然にも高速餅つきを見ることができてとても喜んでいました。お友達は足袋ソックスが気に入って買っていました。

元気な仲良し親子

京都市 H.T

8月19日東北支部会員 T.N さんと子供の T (5歳女子) ちゃんとは I (1歳男子) 君を受け入れました。3人はマレーシアに行っていて、帰路便が遅れて昨日マレーシアから帰られたとのこと、20日に大阪で出演されるイベントがあり、来訪予定は変えられず、そのタフさに先ずびっくりしました。

到着後早速夕食です。子供たちも直ぐになれて子供好きの夫が「可愛い子供たち」というほどで、楽しいひとときを過ごしました。食後、I君はおもちゃで遊び、Tちゃんはブローチの作り方を教えてあげると早速に作り、上手に仕上げたのでびっくりでした。

翌日は夫と一緒に近くの東福寺を見てから大阪に向かわれました。



再びピサンカを作り挑戦

京都市 H.T

以前 Anachan にピサンカを教してもらってそのミラクルにはまった私たち、Anachan にもう1度したいとお願いして9月18日に我が家でする事になりました。メンバーは W.H さん、K.K さん、友達の Y.M さん、それに私の4人です。いつものようにおしゃべりしながら昼食を楽しんだ後、早速ピサンカ作り。作っている間中、出てくる言葉は「上手く行かない」ばかりです。でも、最後の行程が終わるや又々ミラクル！ K.K さんも出来映えに満足され、早速 Facebook にアップされました。

作る材料は卵の殻以外は全て Anachan がウクライナから持って来られた物です。Anachan は日本に持参する荷物に衣類は1組しか入れないでひたすらピサンカの材料を持って来られたそうです。その貴重な



材料を2回も利用させていただいてごめんね。そして、ありがとう。

Anachan は京都市がウクライナから避難してきた人のために用意した山科の市営住宅に家賃は無料で住んでいます。所

が来年からはおそらく家賃を払わないといけなくなるということです。今、ウクライナに戻れる状態ではないのに何と云うこと！ スリランカのウィシュマさんが入管施設で収容中に亡くなられた事とか、日本の難民支援はとても不完全だと思いました。

3. イベント参加報告

アフリカ音楽と接して

久御山町 A.K

東北支部 T.N さんが H.T さんのお家に大阪でのイベントに参加する前にお子さんを連れて泊りに来られる話を聞きました。イベント参加のプログラムには、コンゴ民主共和国出身で千葉県在住の BB モフランさん（劇団四季ライオンキング初代パーカッション）が参加されると聞いて、参加することにしました。



音楽療法 NPO ムジカトゥッティ。みんなで一緒に音楽を 1999 年設立。2009 年アフリカンリズムのイベントは、BB モフランさんと音楽療法士多田羅さんのコンビではじめられたそうです。

会場は、片平仁さん制作の赤のジェンベタペストリーと mama yoko 制作のアフリカンな衣装は、とても目を引きました。独特の雰囲気の中、受付で T.N さんと子供たちに会いました。T.N さんは他の人



達と音楽に合わせてダンスの参加をしていました。私は、アフリカリズムは、劇団四季ライオンキングで聞いたきりだったので、とても懐かしく思い出しました。楽譜がなくて、打楽器を使ってリズム打ち、二人組になって打楽器でのトーキングドラムをしました。多田羅さんのとても楽しい会話によって和やかに進みました。完成された音楽を聴くのではなく、その場で言葉を合わせていき、リズムを刻んでいました。楽しい思い出でした。

4. お知らせとお願い

支部長

*2023 年度サーバス年会費が未納の方は納入をお願いします。

年会費（一般 3000 円 学生 2000 円 休会者 B 1000 円）

ご質問等ありましたら支部長にご連絡ください。よろしくお願いたします。

...